

農芸同窓会会報

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町 2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6996

令和4年度
同窓会総会は
書面をもって総会に
代えさせていただきます
ご了承ください

ご挨拶

「農芸」について



同窓会会長 大橋 徳紀
(高校第十回・昭和三十三年卒)

会員の皆様におかれましては、世情さまざまな

状況の中におかれましても、それぞれにご健勝にてお過ごしのこととご拝察申し上げます。そうした中、母校の農

芸祭につきましては一昨年に引き続き本年も一般開放が行われなくなりましたことから、総会を開催せず議事内容を本号に掲載してご覧頂くこととさせていただきます。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

ところで昨年も申し上げましたが七年後には母校100周年を迎えますが、私自身が入学させて頂いたのは河原田から農芸高

意見を聴取された、とあり、その前年卒の藤井昭郎氏は生徒間では「河農」が佳いのではとの意見が多かったと述べられています。飯田先生が河原田高校時代に地域の方々と意を合わせて農芸祭を催したと述べられており、以後農芸祭は母校のみならず地域の農業まつりとして教年に亘り定着していったことが、「農芸」の名を生むに至ったのではないかと手前勝手に推察させて頂き、現在では「農芸」は母校の代名詞として喜寿を迎えようとしていること同慶の至りであり、百周年後に

も次世代と地域の活性化の礎となり続けることをご期待申し上げます。皆様方と共に同窓会の尚一層の充実を心がけるべきであると確信するばかりであります。



母校の校歌

松村 正
(高校第十九回・昭和四十二年卒)

口遊む積もりです。

一、歴史は古き河後に生くるこの日をよるこびて

土に親しむあさゆふのいのちをひらく知恵のかぎ

この河原田の学びやは若うどわれらのころのふるさと

二、柑橘みのる丘の上夢多き日の眼をあげて東を見れば海の青さやけく胸にしみわたる

この河原田の学びやは若うどわれらのころのふるさと

三、むかしローマのうたびとがすべてに勝つとたたへたる

額の汗のたうとさを知りて三とせの春と秋この河原田の学びやは若うどわれらのころのふるさと

歌詩作りは、学校の持つ特性・精神・周りの景色・未来を基本とした文章が織り込まれ、校歌は作られています。

本校の教育活動



校長 中田 直人

同窓会員の皆様には平素より本校の教育活動に

対して、温かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

本年度2年目を迎えました校長の中田です。どうぞよろしくお願

いたす。本校では「キミのなりたい」につながる知識と技術がここにある。」をキャッチフレーズに、農業家庭科教育を教職員が一丸となつて進めています。

さて、本年度の教育活動の様子でございますが、4月に延期になっていた3年生修学旅行(関西方面)、6月の体育祭(四日市市中

央陸上競技場)、10月の2年生修学旅行(北九州方面)を実施することができました。また、10月に開催した高校生活入門講座では、たくさんの中3年生やその保護者に参加していただきました。授業・実習行事、農業クラブ・家庭クラブ活動や部活動等、感染症対策を行いながら、ほぼ従来通りの活動を取り戻しています。11月の農芸祭

につきましては限定公開(保護者、中学生、河原田地区住民)という形で開催させていただきました。今後も感染防止を図りながら教育活動を続けていき、農芸高校を盛り上げてい

きたいと思えます。現在、本校では「環境マネジメントシステム」を構築し、実行するためISO14001認証取得しています。しかしながら、認証継続するための費用、担当教員の負担、認証することだけが目的になっている等、ここ数年間様々な課題も浮かび上がってきています。

昨年度、全校生徒に「環境問題への関心が高まり、環境保護への気持ちはあるか」とアンケートを取ったところ、ほぼ9割の生徒が農業学科ではGAP(農業生産工程管理)・SDGSや

環境保全の観点からの実習等を行うことで環境教育を進めています。一方、家庭学科の生徒全員が加盟している家庭クラブ活動の一つに奉仕の精神があり、この精神に則り、環境美化活動を進めています。さらに、環境月間での全職員が環境の視点を置いた授業の展開や年間を通して生徒の環境美化委員の活動も行われています。

このように様々な授業、活動を通して環境教育へアプローチすることで、ISO14001の認証を継続しなくても、負担なく環境マネジメントの改善と継続をしていくことができると判